

地域とともにある
学校づくり

えべつ型コミュニティ・スクール

えべつCS 通信

江別市教育委員会 教育部 総務課



新・学校運営委員会の委員決まる

学校運営委員会の委員は、保護者（必須）、地域の住民（必須）、校長及び教職員、運営に資する活動を行う者（必須）—下段の「用語解説」参照—、その他教育委員会が適当と認める者から、学校の実情に応じて校長が推薦し、教育委員会会議の承認を経て、委嘱されます。

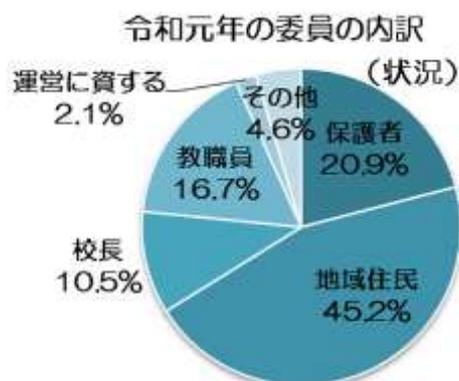
江別市では、委員の任期を2年、定数を1校につき10人以内と定めています。

平成29年4月にスタートしたえべつ型CSの運営委員は、今年の3月で委嘱期間が終了しました。今年4月に、新たに委嘱された委員は、25校で239人です。（平成29年4月時点では、26校246人。平成30年3月末で角山小学校が閉校したため1校減。）

推薦分野別の人数・%を比べてみます。

【令和元年の委員の状況】

推薦分野	保護者	地域住民	校長	教職員	運営に資する	その他	計
人数	50	108	25	40	5	11	239
%	20.9%	45.2%	10.5%	16.7%	2.1%	4.6%	100%



【参考：平成29年の委員の状況】



推薦分野	保護者	地域住民	校長	教職員	ボランティア	その他	計
人数	44	106	26	44	5	21	246
%	17.9%	43.1%	10.6%	17.9%	2.0%	8.5%	100%

江別市におけるCS導入当時には、上の表のとおり「ボランティア」という推薦分野がありましたが、その後の法改正等により、現在は「運営に資する活動を行う者」に改められています。

この「運営に資する活動を行う者」に該当する方は、5人（2.1%）と少ないように見えますが、実際の推薦に当たっては、「保護者」や「地域住民」といった他の分野から推薦された方の中に「運営に資する活動を行う者」としても推薦された方が含まれており、その方々を含めると、64人（26.8%）となります。

また、委嘱期間内に人事異動で交代する可能性がある校長や教職員を除くと、前期から引き続き委員となった方は、174人中122人（70.1%）となっています。

「用語」解説 ⑦ 運営に資する活動を行う者

平成29年4月に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6により、学校運営協議会（江別市は学校運営委員会）の委員に、「対象学校の運営に資する活動を行う者」が加わりました。具体的には、社会教育法の改正によって規定された「地域学校協働活動推進員」をはじめ、学校と地域をつなぐコーディネーターとしての役割を担っている方、学校支援を行っている地域の団体等のとりまとめを行う立場にある方、学校支援を行うボランティア活動を経験したことがある方などが該当します。

平成30年度学校評価の結果について・・・【その1】

えべつ型コミュニティ・スクールの三つの機能の一つに「学校関係者評価の実施」があります。

各学校から提出された結果をもとに、江別市全体の結果としてまとめましたので、紹介します。

1. 評価分野について

()内はH29年の数字

江別市では、平成21年度から「経営方針の重点」、「教育課程・学習指導」、「生徒指導」の3分野を必須としています。全校の平均は5.3(5.0)分野で、各校が自由選択した評価分野の主なものは、「健康安全指導」、「保護者・地域との連携」、「特別支援教育」、「道德教育」となっており、昨年度とほぼ同様の傾向です。

- ・健康安全指導 12校(11校)
- ・保護者・地域との連携 11校(12校)
- ・特別支援教育 7校(7校)
- ・道德教育 4校(3校)

2. 自己評価の状況について

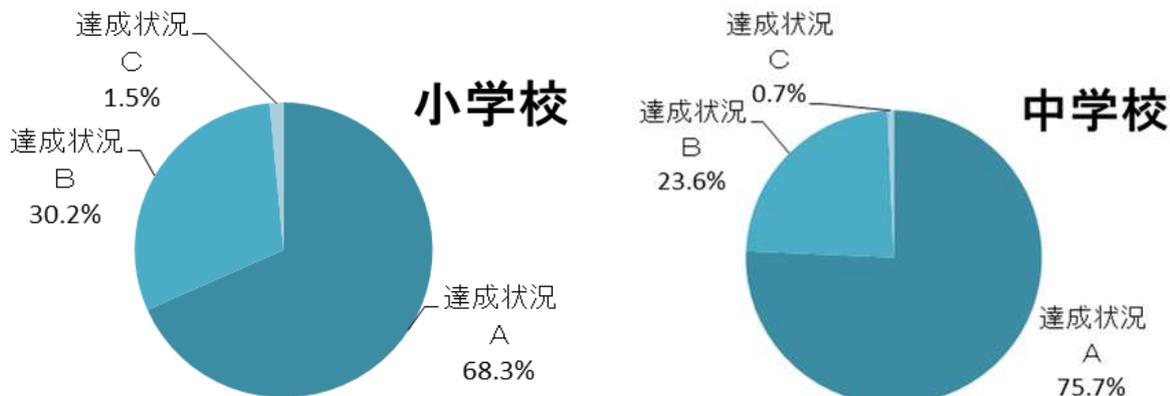
()内はH29年の数字

自己評価は、「A=よい、B=おおむねよい、C=ややよくない、D=よくない」の4段階で行っています。

昨年度と比べて、全評価項目のうちA評価の割合は、小学校は同じであり、A評価は68.3%、B評価は30.2%となりましたが、中学校のA評価は20.7ポイント増となり、75.7%、B評価は23.6%となっています。

【小学校】A68.3%(68.3%)、B30.2%(31.2%)

【中学校】A75.7%(55.0%)、B23.6%(44.3%)



3. 学校関係者評価で寄せられた意見について

意見総数は、小学校で112件、中学校で54件の計166件でした。

意見は、大別して

A) 評価の項目設定、評価の個別または全般に対するもの

B) 分野に関わる改善方策や日頃感じていること

などに分けることができ、A)は24件、B)は142件でした。B)は学校と地域・家庭との連携(開かれた学校)に関すること、児童・生徒への指導に関すること、教職員に関すること、教育課程・学習指導に関することなど、多岐にわたっています。

主な意見の紹介は、次号で行います。